

## 第68回 通常総会

### 農畜産物取扱高 37億3千9百万円

本組合の第68回通常総会が5月26日午前9時から札幌福祉センターで開催されました。総会には正組合員187名の内、委任・書面議決を含む136名が出席しました（出席率72%）。

平成27年度事業報告、平成28年度事業計画の設定、役員を選任など11議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

高橋組合長による開会の挨拶では、「昨年の営農を振り返ってみますと、雪解けは例年より早く、植付作業は順調に進みましたが、春先の干ばつ、6月上旬の降霜や強風の影響で一部の作物に被害が出ましたが、小麦きたほなみについては過去最高の収量となり、また甜菜では高糖度・高収量となり高い所得を確保する事ができました。一部豆類では価格が下落したものの近年にない豊作年となりました。畜産では濃厚飼料の価格が高止まりではあったものの乳価の値上げや



個体販売、和牛素牛が高値で推移したこともあり、組合員の皆様の努力が総じて報われた年であったと推察致します。この様な作況で、当組合の農畜産物の取扱高は交付金を除いて、37億3千9百万円、経常利益で8千728万円となり、計画以上の成果を上げる事ができました。この事は組合員皆様の日々のたゆまぬ営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。」と挨拶しました。

27年度当期末処分剰余金8千1百万円、剰余金処分案では出資配当（0.8%）、事業分量配当2千4百万円の明細が示され原案通り承認されました。

平成28年度の収支計画では、事業総利益が5億3千9百万円、経常利益は4千5百万円、当期末処分剰余金は4千5百万円を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については車両洗浄機、コンテナ洗浄機など原案通り承認されました。

役員を選任議案では理事候補8名、監事候補3名が原案通り選任されました。

総会ではこの他、「T P Pから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議」について、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業を確立するよう強く求めていく事が挙げられました。また、「指定団体制度の機能を維持する特別決議」について、日々

の需給変動に応じ、迅速かつ安定的に需要者・消費者に対して牛乳・乳製品を供給していくためにも指定団体制度の機能を維持する事が重要であると挙げられ、それぞれ決議されました。

## 就任にあたって



代表理事組合長

高橋 秀樹

組合の皆様におかれましては、豊穰の秋を願いながら、農作業に精励の毎日かと存じます。春耕も順調に進み、引き続き今後の天候を願うところでもあります。

さて、去る5月26日に開催された第68回通常総会において理事の再任を受け、その後の理事会において組合長という職務を授かりました。その責務の重大さをひしひしと痛感しております。

国の農業政策が近年めまぐるしく変化し、我国の農業の先行不透明な今、当JAの多様な地域性と現状をしっかりと把握し、組合員の安定した経営、更に所得の向上につながるよう、組合員の方々、役職員の方々、関係機関の皆様のご指導、ご支援を頂きながら微力ではありますが緊張感を持ち全力で精一杯職務を全うする所存でございます。

協同組合の第1原則、協同組合は自主性に基づく組織であり、男女の別や社会的・人権的・政治的あるいは宗教の別を問わず誰にでも開かれているとうたっています。組合員の皆様が知恵を出し合い、農協の方向性を定め、将来像を創り上げていくような「組合員全員で作り育てるJA」を目標に組織運営を進めていきたいと考えております。その為にもJAと組合員との強い結びつきを一番に事業展開を志向してまいります。

歴代の組合長をはじめ、先代の方々がこれまで築いてこられた組合の歴史に敬意を表しますとともに、札内の地域農業を維持発展させることに全力を尽くす所存ですので、組合員の皆様のご理解・ご協力を切にお願いし、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。



専務理事

高橋 孝二

本年は土壌凍結も浅く、春の雪解け後は順調に播き付け・移植等が進み、5月の作況は、連休明けに強風の被害がビート等に見られたものの播き直しや補植などで補い、各作物と

も平年よりも進んでいるとの発表でした。6月に入って曇天・低温が続き生育は停滞気味でありますが、昨年以上の出来秋を期待したいと思います。作業機械の十分な準備とご自身又ご家族の健康にも留意され安全な作業を心掛けていただく様お願い致します。

この度の第68回通常総会では役員選任議案が承認され、その後理事会に於いて専務理事という大任をお受けすることとなり、責任と任務の重さを改めて感じております。協同組合の精神を今一度認識して、力足らずではありますが組合員の皆様や先輩諸兄のお話を伺いながらその任を務めてまいる所存です。

農業情勢においては、やはりTPP交渉が最大の関心事です。十分な情報開示もなく、どのような影響があるかの推測・試算もまちまちで、少しでも早く私たちの不安が払拭されることを望みます。

当JAの組織機構の中には農産・畜産・購買・管理・金融と5部門があり、総合農協として機能しております。それぞれの事業には組合員と相互の信頼関係を持ち安定した経営・財務の管理が求められます。職員個々の能力を発揮できる職場である様取り組み、健全経営を目指して行きたいと考えます。組合員の皆様の信頼と利用される事業展開を提案してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い致します、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

## 幕別町内小学生対象酪農体験

5月21日に幕別町役場主催で幕別町内の小学生を対象とした酪農体験が行われました。

酪農体験は搾乳体験・仔牛とのふれあい体験・トラクター体験・講義がおこなわれました。

搾乳体験では手搾りで搾乳を体験しました。上手く搾れずに悪戦苦闘する子もいましたが、乳が出ると笑顔が見られました。

トラクター体験では初めて乗るトラクターに緊張の面持ちの子ども達でしたが、高い目線から見る景色に大興奮の様子でした。講義ではクイズを交ぜながら牛の一生について説明がされ、みんな楽しみながらも真剣に話を聞いていました。

学校では学ぶ事の出来ない事を見て、聞いて、触れて学んでくれたらとスタッフ一同話していました。



## 幕別町畜産祭り

平成28年度の幕別町畜産祭りが6月2日、幕別町南勢牧場多目的広場に於いて開催されました。6月上旬としては、少し肌寒い気候の中での共進会となりました。

町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた乳牛33頭、和牛29頭が出陳され、体

格や毛並等を競いました。乳牛の部では、当農協組合員出陳の「ノース ジェラルデイン ブラック フェイス」が経産牛・最高位賞を、「ファースト マグナム レーザービーム」が経産牛・準最高位賞をそれぞれ獲得しました。昼食にはバーベキューやお楽しみ抽選会などが行われ、参加者同士の交流を深めました。毎年恒例の『ジャッジングコンテスト』も行われ、一般の方も牛を間近に見ながらコンテストに参加していました。



(左) ノース ジェラルデイン ブラック フェイス

(右) ファースト マグナム レーザービーム